

インクルーシブ教育の推進に向けた環境整備について

1 教員の専門性向上について

(1) 事業概要

障がいのある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導をめざす。そのため、特別支援学級、特別支援教員のみならず、区立小・中学校全教員の特別支援教育についての専門性向上を図るとともに、個別指導計画を活用した個別最適な学びの実現を推進する。

(2) 進捗状況

平成29年度から東京都の特別支援学級専門性向上事業を活用して、「東京都立高島特別支援学校」と連携し、指導方法の事例を蓄積して、小・中学校に還元している。昨年度は弥生小学校と連携し、高島特別支援学校の教員からの専門性を生かしたアドバイスを受けるとともに、改善した内容について区内小中学校に共有した。本年度は赤塚新町小学校が連携し、指導事例を蓄積していく。また、教科等における高い授業力がある教員の中から模範となる授業を公開する教科等指導専門官の中で、特別支援教育の教科等指導専門官1名を任命し、授業公開を実施する。

2 特別支援教室（STEP UP 教室）等について

(1) 事業概要

通常の学級に在籍し、知的な発達の遅れがないが、発達障がいやその他の情緒的課題のため、学校生活にうまく適応できない児童・生徒に対し、在籍校において、学習上・生活上の困難が改善・克服できるよう個に応じた指導を行っている。本年度は、改訂された「特別支援教室の運営ガイドライン」（令和3年3月 東京都教育委員会）に沿って特別支援教室の運営を進めている。

(2) 設置状況

板橋区立学校全校に設置し、拠点校が小学校13校、中学校6校あり、巡回指導教員が各校を巡回して指導している。令和4年5月1日現在、小学校719名、中学校213名が在籍しており、対象児童・生徒は週2時間程度STEP UP 教室で学習している。児童・生徒が抱えている障がいによる学習上、生活上の困難さを改善・克服するとともに、対象児童・生徒が「できた」「わかった」という実感を得られるようし、達成感を得て自尊感情・自己肯定感を向上させ、在籍学級での有意義な学校生活につなげている。

3 就学相談について

(1) 事業概要

区立小・中学校の特別支援学級（知的）、STEP UP 教室（情緒）及び都立特別支援学校への入学・入室を希望される方の就学・転学の相談や、特別支援教育について悩みのある方の相談を行っている。児童・生徒にとってどのような就学が望ましいか、保護者の意見を尊重しながら、教育相談アドバイザーが相談を受ける。保護者が電話で予約をしてから、教育支援センターの面談室にて、親子で面談を受ける。面談後には、必要に応じて、行動観察会（就学相談会という）に出席していただき、専門家による審議がある。

(2) 就学相談実績

令和元年度… 381人、令和2年度… 419人、令和3年度… 430人

※子どもの人数。親子別々の相談員で面談を行うが、1組で1人とカウントする。

(3) 就学相談における課題

就学相談会（教育学・医学・心理学等の観点から総合的に判断）での審議結果が保護者の希望と異なり、相談を継続しても保護者の意思が変わらない場合には、保護者の希望を優先している。保護者の意思が、当該子どもの育ちに最適な学びの場であるかどうかについては、議論が分かれるところである。

心理検査の結果、知的な遅れが認められない、重度の自閉症スペクトラムなどの情緒課題がある場合で、保護者が強く固定学級を希望している場合に、受け皿がないため、対応に苦慮している。